

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名		設置認可年月日	校 長 名		所 在 地	
日本工学院専門学校		昭和51年7月1日	千葉 茂		〒144-8555 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-3732-1111	
設 置 者 名		設立認可年月日	代 表 者 名		所 在 地	
学校法人 片柳学園		昭和25年3月1日	片柳 鴻		〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-6424-1111	
目 的	ソフトウェア開発からシステム運用まで、ITの分野で活躍するために必要な知識を修得する。専門分野の技術を学ぶ「ITスキル」、各種業界の基礎知識や社会人としてのマナーを学ぶ「ビジネススキル」、他者とのかかわり方や自分自身の人間力を高める「ヒューマンスキル」の3本を柱とし、社会で活躍できる自信もつけさせる。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	工業専門課程	情報処理科	2年(昼)	1725単位時間 (又は単位)	平成23年文部科学大臣告示第167号	—
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技
		1200単位時間 (又は80単位)	—単位時間 (又は単位)	—単位時間 (又は単位)	1560単位時間 (又は52単位)	—単位時間 (又は単位)
生徒総定員		生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
360人		375人	10人	6人	16人	
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～翌3月31日			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 成績評価の方法 授業日数の4分の3以上出席し試験を受験する。 成績評価の基準 S：90点以上 A：80～90点 B：70～79点 C：60～69点 D：59点以下は不合格 P：単位認定	
長期休み	■学年始め： 4月1日 ■夏 季： 7月21日～8月31日 ■冬 季： 12月23日～翌年1月8日 ■春 季： 3月18日～3月31日 ■学 年 末： 3月31日			卒業・進級条件	進級条件 ①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等を全額納入していること 卒業条件 ①卒業年次の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等を全額納入していること	

生徒指導	■クラス担任制 (有)・無) ■長期欠席者への指導等の対応 当日中に担任から電話・メール等で連絡することを基本とし、状況に応じてだが、数日続いた時点で保護者に連絡をするなどの指導をしている。	課外活動	■課外活動の種類 MOS 世界大会日本予選 大田区主催ボランティア ■サークル活動 (有)・無)
主な就職先	■主な就職先、業界 (株)アプリコット、リコーテクノシステムズ(株)、(株)トランス・コスモステクノロジーズ ■就職率 86.9% ■卒業者に占める就職者の割合 76.2% ■その他 (任意)	主な資格・検定	基本情報技術者試験、IT パスポート試験、MOS 試験、情報活用試験、ビジネス能力検定
中途退学の現状	■中途退学者 19名 ■中退率 4.2% 平成 24 年 4 月 1 日在学者 445 名 (平成 24 年 4 月入学者を含む) 平成 25 年 3 月 31 日在学者 426 名 (平成 25 年 3 月卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 経済的理由、進路変更、体調不良、病気療養 ■中退防止のための取組 担任による指導の他、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはカウンセリಂಗールーム等を設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。		
ホームページ	URL: http://www.neec.ac.jp/		

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

IT分野に関し、適宜、企業等へのヒアリングを実施し、実務に関する知識、技術を調査して、カリキュラムに反映させる。

またIT分野に関し、年度毎に既存のカリキュラムについて総合的に検証する。授業科目のシラバスをもとに、科目担当教員と企業講師との間で意見交換を行い、内容や評価方法を定める。また、学習評価を踏まえ、授業内容・方法等について検証する。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成26年8月27日現在

名前	所属	任期
前原 恵子	公益社団法人全国経理教育協会	平成27年3月31日
湯本 良一	株式会社アール・テー・ワイ 代表取締役	平成27年3月31日
千葉 茂	日本工学院専門学校 校長	平成27年3月31日
遠山 一明	日本工学院専門学校 副校長	平成27年3月31日
坪井 勇次	日本工学院専門学校 ITカレッジ長	平成27年3月31日
大矢 政男	日本工学院専門学校 ITカレッジ総轄科長	平成27年3月31日
兒島 正広	日本工学院専門学校 ITカレッジ科長	平成27年3月31日
高橋 忠雄	日本工学院専門学校 教育・学生支援部課長	平成27年3月31日

(開催日時)

第1回 平成26年8月27日 10:00~10:30、14:10~14:30

第2回 平成27年3月(予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

IT分野に関する実践的な実習や演習をおこなうため、教育内容に関するノウハウや最新技術の動向における助言、または技術指導などを受けられる企業を選定する。

科目名	科目概要	連携企業等
卒業制作1	在学中に学習したことを生かしてグループごとにテーマを決め、作品の製作や自由研究を行います。	株式会社イツ

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、最新技術力と技能、人間力を修得する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成26年9月26日現在

名前	所属	任期
桂田 忠明	セントラル電子制御株式会社 代表取締役社長	平成27年3月31日
工藤 俊一郎	公益財団法人 放送番組センター 専務理事	平成27年3月31日
藤本 昌之	株式会社エンドレスエコー 代表取締役	平成27年3月31日
高橋 修	東京実業高等学校 進路指導副部長	平成27年3月31日
正木 英治	株式会社マックス 専務取締役	平成27年3月31日
前原 恵子	トレランスアクト株式会社 代表取締役	平成27年3月31日
小澤 賢侍	公益財団法人 画像情報教育振興協会 教育事業部 セクションチーフ	平成27年3月31日
今泉 裕人	一般社団法人 コンサートプロモーターズ協会 事務局長	平成27年3月31日

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: http://www.neec.ac.jp/news/131129/neec_report.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: http://www.neec.ac.jp/news/131129/neec_report.pdf

授業科目等の概要

(工業専門課程 情報処理科) 平成 26 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			キャリアデザイン1	就職するにあたっての心構えや準備について学びます。	1・前	45	3	○		
○			キャリアデザイン2	就職するにあたっての心構えや準備について学びます。	1・後	45	3	○		
○			コミュニケーション	グループ活動を想定して、人と人とのコミュニケーションの取り方を学びます。	1・前	15	1	○		
○			プレゼンテーション	パソコンを使い、多くの人の前で発表する技術を身につけます。	1・後	30	2	○		
○			ビジネススキル1	就職活動に備え、社会人として身につけるべき「身だしなみ」「言葉づかい」「挨拶」「話し方」などのマナーを習得します。	1・後	30	2	○		
		○	スポーツ実習1	スキー、スノーボードの合宿などを体験します。	1・後	30	1			○
○			パソコンセットアップ概論	在学中に使用するノートパソコンのOS、アプリケーションソフトのインストール、各種環境設定を行います。	1・前	15	1	○		
○			パソコン組立て講座	パソコンの分解、組立て、OSのセットアップについて学びます。また、パソコンのトラブルに対応できるノウハウを養います。	1・後	15	1	○		
○			コンピュータ・情報システム	コンピュータが動作するしくみ、企業でのコンピュータの利用形態や信頼性を考慮したシステム構成について学びます。また、情報処理の基礎理論を通して論理的な考え方を学びます。	1・前	60	4	○		
○			ネットワークとデータベース	ネットワークやデータベースの基本的な知識について学びます。	1・前	60	4	○		

○			システム設計	システムの開発手順に沿って、設計に必要な知識と設計の手法を学びます。	1・後	30	2	○		
○			システム戦略とマネジメント	業務プロセスの改善とプロジェクトの目的や考え方について学びます。	1・前	60	4	○		
○			情報系資格対策講座1	情報処理技術者試験、ベンダー資格などの各種検定試験対策を行います。	1・前	15	1	○		
○			情報系資格対策講座2	情報処理技術者試験、ベンダー資格などの各種検定試験対策を行います。	1・後	90	6	○		
		○	基本情報対策講座1	基本情報処理技術者試験の午前免除試験に向けた対策を行います。	1・後	45	3	○		
		○	資格対策講座1	各種検定資格の対策を行います。	1・前	30	2	○		
		○	特別講座1	様々な講師陣による特別講座を行います。	1・後	15	1	○		
○			プログラミング実習	より実践的なプログラミング技術を学びます	1・後	90	3			○
○			Office実習	コンピュータの基本操作や、基本情報技術者試験の科目にもなった表計算ソフトなどのアプリケーション操作を学びます。	1・前	90	3			○
○			アルゴリズムとプログラミング	プログラムを作るときに必要な考え方や表記法をわかりやすく学び、アルゴリズムについての理解を深めます。また、プログラミング言語を使用して、ソフトウェア制作の基礎を学びます。	1・前	90	3			○
○			Webデザイン	Web ページを作成するための基本的なHTML について学びます。	1・後	30	1			○
○			データベース基礎	リレーショナル型データベースの構造や管理機能などデータベースの基礎を学びます。	1・後	60	2			○
		○	インターンシップ1	一定期間企業などの研修生として働き、自分の将来に関連のある職業体験を行います。	1・後	30	1			○
		○	インターンシップ2	一定期間企業などの研修生として働き、自分の将来に関連のある職業体験を行います。	1・後	150	5			○

		○	校外研修 1	IT 関連の展示会や講習会などに参加して最新の製品や情報に触れます。	1・前	30	1			○
		○	校外研修 2	IT 関連の展示会や講習会などに参加して最新の製品や情報に触れます。	1・後	30	1			○
○			キャリアデザイン 3	就職するにあたっての心構えや準備について学びます。	2・前	90	6	○		
○			キャリアデザイン 4	就職するにあたっての心構えや準備について学びます。	2・後	90	6	○		
○			ビジネススキル 2	仕事をする際に必要となる電話の対応、ビジネスメール、手紙のマナーなど、社会人に役立つビジネスマナーを身につけます	2・前	30	2	○		
		○	スポーツ実習 2	スキー、スノーボードの合宿などを体験します。	2・後	30	2	○		
○			クラウドコンピューティング	クラウドコンピューティングなどの、最先端の IT 技術について学びます。	2・前	30	2	○		
○			ソフトウェアデザイン	「システム設計」の授業で学習したことを基に、より具体的な実例を用いてグループ単位でシステム開発の演習を行います。	2・前	30	2	○		
○			情報系資格対策講座 3	情報処理技術者試験、ベンダー資格などの各種検定試験対策を行います。	2・前	45	3	○		
○			情報系資格対策講座 4	情報処理技術者試験、ベンダー資格などの各種検定試験対策を行います。	2・後	90	6	○		
		○	資格対策講座 2	各種検定資格の対策を行います。	2・前	30	2	○		
		○	基本情報対策講座 2	基本情報処理技術者試験の午後免除試験に向けた対策を行います。	2・前	45	3	○		
		○	基本情報対策講座 3	基本情報処理技術者試験の免除試験に向けた対策を行います。	2・後	45	3	○		
		○	特別講座 2	様々な講師陣による特別講座を行います。	2・後	15	1	○		
	○		情報デザイン	情報デザインの基礎となる人間中心設計について学びます。	2・後	30	2	○		

	○		モバイルプログラミング1	モバイル開発環境のもとモバイルプログラミングを学びます。	2・前	60	2			○
	○		モバイルプログラミング2	モバイルアプリの制作方法について実践的に学びます。	2・後	60	2			○
	○		コンピュータネットワーク	モバイルアプリの制作方法について実践的に学びます。	2・後	30	1			○
	○		サーバ構築実習1	Linux系の様々なサーバについて、その構築方法と運用管理方法について演習を通じて学びます。	2・前	60	2			○
	○		サーバ構築実習2	Linux系の様々なサーバについて、その構築方法と運用管理方法について演習を通じて学びます。	2・後	60	2			○
○			Linux実習	OSのインストールから環境設定、UNIXコマンドなど基本操作を学びます。	2・前	60	2			○
○			データベース応用	リレーショナル型データベースの構造や管理機能など活用する技術を習得します。	2・前	60	2			○
○			オブジェクト指向プログラミング1	プログラミング技法を基に、アプリケーションの作成を学びます。	2・前	60	2			○
○			オブジェクト指向プログラミング2	プログラミング技法を基に、アプリケーションの作成を学びます。	2・後	60	2			○
		○	インターンシップ3	一定期間企業などの研修生として働き、自分の将来に関連のある職業体験を行います。	2・後	150	5			○
		○	校外研修3	IT関連の展示会や講習会などに参加して最新の製品や情報に触れます。	2・前	30	1			○
		○	校外研修4	IT関連の展示会や講習会などに参加して最新の製品や情報に触れます。	2・後	30	1			○
○			卒業制作1	在学中に学習したことを生かしてグループごとにテーマを決め、作品の製作や自由研究を行います。	2・前	30	1			○

○		卒業制作 2	在学中に学習したことを生かしてグループごとにテーマを決め、作品の製作や自由研究を行います。	2・後	180	6			○
合計			53 科目	2760 時間 (132 単位)					